

みなとみらい線 元町・中華街駅 元町改札内お客様用トイレを全面リニューアル

～周辺の公園の花や緑を感じるやすらぎのレストルームとして4/28から供用開始します～

横浜高速鉄道株式会社（本社：横浜市中区、代表取締役社長 森 秀毅）は、かねてより進めていました元町・中華街駅の元町改札内のお客様用トイレの全面改修工事について、工事期間中のご不便へのお詫びとともに、無事に工事が完了し、明日28日（火）から一般供用を開始することをお知らせします。

この度のリニューアルでは、混雑緩和に向けたトイレブースの増設をはじめ、多機能トイレの共用化、ベビーカーや大きな荷物を持ったままでも入室が可能なゆとりあるブースの新設など、より清潔で快適にお使いいただけるよう設備を整えました。

【リニューアルコンセプト】

「グラフィカルな一冊の本」という元町・中華街駅のデザインコンセプトをそのまま残し、トイレ内の壁面に街のアートを描いているほか、“光”、“緑・花”をテーマとして、周辺の公園の緑をイメージしたリーフガラスや横浜市の花である“バラ”を用いたディスプレイアートを採用するなど、デザイン性と快適さを兼ね備えたトイレに生まれ変わっております。

【概要】

供用開始日 2026年4月28日（火）初電～

場 所 元町中華街駅 元町改札内

- リニューアル内容
- ・トイレブース数増設
 - ・多機能トイレの共用化、広々ブースの設置によるユニバーサルデザインの充実
 - ・スタイリングコーナー、パウダーコーナー、おむつ替えコーナーを設置
 - ・在室表示モニターの設置



街の気配を感じられる壁面アートパネル



公園の緑をイメージしたリーフガラス



在室表示モニターによる空き状況の確認